第 36 号　2018 年 11 月 15 日発行

CSRの和

2018.11
36

特集 1

2017 年度 SDGs 報告会開催

特集 2

新プロジェクトチーム発足

SDGs 報告会で発表する 16 代目インターン生の小林愛鐘さん

大川印刷
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

SDGs 報告会

2018 年 2 月 20 日（火）、これまでの「CSR 報告会」を「SDGs 報告会」と改め、YCC ヨコハマ創造都市センターにて開催いたしました。

SDGs（Sustainable Development Goals - 持続可能な開発目標）は持続可能な社会をつくるための国際目標です。当社では 2017 年度の経営計画に SDGs を盛り込み、世界の課題解決へとつながる、本業を通じた行動を実践してきました。今年度の報告会のテーマは「大川印刷 SDGs 元年～持続可能な社会を実現するために地域企業ができること～」。当社からは昨年度の取り組みや今後の目標について発表しました。

80 名以上のお客さまやパートナー企業の皆さまが来場され、貴重な時間を共有することができました。(髙橋サブリーダー)

大川印刷第 16 代インターン生である小林愛鐘（あかね）さんを招き、インターン当時の「多言語版おくすり手帳普及プロジェクト」の取り組みや、その後青年海外協力隊としてガーナへ渡った経験について発表をしていただきました。ガーナで直面したゴミ問題と、それを解決するプラスチックごみ回収システムの構築、そのごみを利用したハンドメイド商品づくりから取り組む雇用問題について説明されました。

認定 NPO 法人 ACE の代表 岩附（いわつき）由香様にもお越しいただき、「児童労働の無い未来へ」の題で、SDGs に繋がる活動の講演をしていただきました。ガーナでの危険な労働からの子どもの保護や、教育環境の改善と就学の徹底、子ども・若者の権利を奪う社会課題の解決についてなど、世界で起きる問題を分かりやすくお話しいただき、従業員にとっても学びの場となりました。

「SDGs を忘れないメモ帳」開発

2018 年のお年賀として、SDGs の啓発・社会全体で取り組む一端になればと作成しました。世界各国が合意した 17 の目標のピクトグラムを 1 枚 1 目標で表示し、メモ帳のサイズも子どもが片手で持てる大きさにもこだわりました。啓蒙活動の一環で配布を行ったところ多数の方からご関心を持っていただき、大企業、行政、NGO 団体様が採用してくださっています。

メモ帳を使用する皆さまが SDGs を理解し、考え、行動するきっかけになればうれしいです。（梶原サブリーダー）

「SDGs を忘れないメモ帳」

SDGs のロゴを大きく貼り出した展示が好評

大川社長のあいさつ

当社の取り組みを発表

蓑輪さんによる
多言語版おくすり手帳の報告

数代（かずしろ）さん（左）と
伊東さん（右）の
息のあった司会

神奈川県ユニセフ協会様のブースでは
先進国と途上国の新生児の体重を
比較できる人形が展示されました

いじめ反対のキャンペーン
「ピンクシャツデー」の紹介

IIOHE　川北様にも
コメントをいただきました

横浜ビール　太田社長から
ビールのご説明

小林さんがガーナで取り組んだ、大量に廃棄
されているパックの飲料水「ピュアウォーター」
の袋で作ったバッグやポーチなども販売

台湾人インターンシップ生 SDGs 教育ツール作成

台湾からのインターンシップとして、1月31日（水）から2月21日（水）の期間、陳（ちん）熙（き）さんが大川印刷で研修を積みました。

成果物として、「子どもでも理解できる SDGs」をテーマに SDGs の教育ツールを制作しました。小学３～４年生を対象にしています。

陳さんが描いたキャラクター「川ちゃん」（台湾の農民の子ども）が登場し、ストーリー仕立てで陳さんの感想を述べていくスタイルで、SDGs の重要性を３か国語で伝えています。翻訳は営業所の皆にも協力してもらい、陳さんの想いを乗せたツールが完成しました。無事にインターンシップの報告会で発表できて良かったです。（岡田）

研修の最終報告後の会場で、
制作した SDGs の教育ツールを掲げる陳さん

新プロジェク

品質保証チーム

品質向上のための会議

今年は、これまで以上により良い製品をお客さまにお届けする為に、品質保証部が設置されました。

その中で、品質保証チームの役割は、品質保証部のサポートという位置づけで昨年同様、製品品質の向上、防虫対策、サービスレベルの向上、情報漏えい、BCP対策など多岐にわたる活動を行っていきます。（中橋チームリーダー）

ゼロ・エミッション2020プロジェクトチーム

「ゼロ・エミッション」とは、企業や産業から出る廃棄物を再利用することで、最終的な廃棄物をゼロにすることです。まずはごみの分別の意識改革から始めて、3R ＝リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源の再利用）を推し進めていきます。

まずは徹底した分別から

情熱と知恵と工夫、そしてみんなの協力で、ごみゼロを目指していきます。（伊東チームリーダー）

SDGs Fun to Work プロジェクト

SDGs にどう取り組むか会議中

当プロジェクトは、SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」で掲げられている働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）の実現や SDGs に関連した工場見学の推進、リブランディングにともなう工場見学マップのリニューアル、SDGs 報告会の実施など、日々の活動のなかで働く楽しさを見出して社内外に広げる活動をしていきます。
（草間チームリーダー）

若者カフェ

キャリア教育の一環として行われた
横浜市立横浜総合高校のイベント
「横総未来博」でブース運営を行いました

未来の会社や社会を担う 20 代を中心としたメンバーでレベルアップを図っていきます。

当社の存続がこれから先も持続可能であるために、長い歴史のバトンを受け継ぐ「若者」の力を伸ばして、時には諸先輩の力も借りながら、自らが先頭に立てる人財になっていきます。
（上田チームリーダー）

第 7 回 カーボン・オフセット大賞 奨励賞を受賞

「印刷事業に係る全 CO_2 排出量をオフセット」

2016 年度より、国内印刷業界で初めて、社内での印刷物の印刷・輸送・営業等に係る年間 CO_2 排出量を全てオフセットすることで、全く CO_2 負荷のかからない「CO_2 ゼロ印刷」を行っています。削減しきれない CO_2 総量を J-VER※制度でオフセットし「CO_2 ゼロ印刷」を実現しました。このことが評価され、カーボン・オフセット推進ネットワーク主催の「第 7 回カーボン・オフセット大賞」で奨励賞をいただくことができました。（諸星）

賞状を受け取った大川社長

※ J-VER　日本（J-）での第三者検証を受けた自主的な排出削減・吸収量クレジット（VER）

トチーム発足

日本初！ FSC® 大川ブランドプロジェクト

SDGs を進めていく上で、進捗状況を確認する指標の 1 つとして、「自主的な森林認証を取得している森林の面積増加」が掲げられました。これは SDGs の目標達成に向けて第三者森林認証制度の有効性が認められた初めてのケースだそうです。FSC® の「10 の原則」に基づく活動が SDGs11 の目標と 35 のターゲットを達成することにつながることから、当社は、今までの FSC® 紙の積極的使用に加え、FSC® リサイクル 100 の取り組みも進めていきます。（中橋チームリーダー）

FSC® の推進に今後も取り組みます！

会社案内＋α（アルファ）プロジェクト

SDGs の【12. つかう責任 つくる責任】の【ターゲット 12.6.1 持続可能性に関する報告書を発行する企業の数】の項目に合致するプロジェクトです。

従来の会社案内にプラスして ESG※-CSR 情報や人財採用の情報など掲載し、取引企業やステークホルダーからの信用度を高め、他社との差別化を図りたい大企業の下請企業や環境・CSR に力を入れている企業に提案をしていきます。また、優秀な若い人財を採用できるようにする会社案内にするなど企業の魅力を伝える取り組みです。目標受注件数：6（宝来チームリーダー）

コンセプト考え中

※ ESG：環境・社会・企業統治の意味で、上場企業は積極的な「非財務情報開示」が必要となり、上場企業が評価するサプライチェーン（下請企業）には ESG に対する配慮が地域企業の情報開示でも求められます。

再生可能エネルギー 100％印刷プロジェクト

太陽光パネルによる発電と、みんな電力様による再生可能エネルギーの電力供給により、社内で使用する電力を再生可能エネルギー 100％にして印刷するプロジェクトです。再生可能エネルギーについて学び、製品の製造にかかる CO_2 排出量とそれをオフセットをした旨を伝票に表示するなどの活動目標があります。

太陽光パネルの設置は、事業者が初期投資なしに太陽光発電システムを設置できるモデルを活用しています。このモデルは、横浜市・横浜市地球温暖化対策推進協議会が目指す再生可能エネルギーの普及拡大を推進するため、ソーラーフロンティア株式会社様がスタートしたもので、当社が第一号で協働しています。（田中チームリーダー）

太陽光パネルを設置した本社の屋根

横浜型地域貢献企業認定制度プレミアム企業に認定

横浜型地域貢献企業認定制度とは、CSR と地域に密着した経営という 2 つの視点から、「社会的活動等に取り組み、地域に貢献する」横浜の企業を「横浜型地域貢献企業」として認定し、企業の持続的な成長及び発展を支援する制度です。2007 年度より、公益財団法人横浜企業経営支援財団が主催して行っています。2017 年度は、横浜型地域貢献企業の中から株式会社スリーハイ様と大川印刷の 2 社が「プレミアム企業」に選ばれました。

「プレミアム企業」とは

自社の CSR 活動が、それぞれのステークホルダー（顧客・従業員・仕入先・地域・株主など）の期待やニーズに沿っており、かつ経営の持続可能性や成長性を生み出す経営戦略的観点を持った取り組みを実践する企業がプレミアム企業と認定され、表彰されます。

大川印刷の評価「CO_2 ゼロ印刷・環境印刷の推進」

日本で初めての CO_2 ゼロ印刷を含む環境印刷の推進が評価されました。会社の年間 CO_2 排出量を測定し、全量をカーボンオフセット。FSC® 紙のラベル表示と使用量の増加推進。昨年度より SDGs や SR 調達など自社の取り組みとステークホルダーの関心と繋がるような提案を行い、環境印刷を推進しています。（田中リーダー）

はまっ子みらいカンパニープロジェクト参加

横浜市教育委員会では、子どもたちのキャリア教育を目的に「はまっ子未来カンパニープロジェクト」を行っています。2017 年度、当社は横浜市能見台小学校様と協働し、MUD の講座と、創立 30 周年の記念品としてカレンダー作りを行いました。

MUD 出張講座では、各家庭から持ってきてもらったお菓子などのパッケージを見て、身の回りの MUD について考えました。学んだことは校内の学習発表会で、保護者や他の児童に発表してくれました。

カレンダー作りでは、一人ひとりに聞いた「校内のお気に入りの場所」を今井さんが撮影し、日めくりカレンダーにしました。合成紙を採用したため、長く使うことができます。カレンダーが児童の手元に届いた後、お互いのページにサインをし合ったそうです。はじめはあまり仲の良いクラスではなかったそうですが、カレンダー作りを通じて児童が良い人間関係を築けたことはとても嬉しく思います。

万年カレンダーは今後、他の学校などでも展開ができるものとなり、当社でも価値のある事業に携わることができました。（宇賀神）

ヘルプマークや優先席マークなどが学べる「ユニかる」で楽しみながら MUD を体感！

宇賀神さんの MUD 講座

作成したカレンダー

夢★らくざプロジェクト おしごとなりきり道場 in みなとみらい

3月21日（水）に一般社団法人 夢らくざプロジェクト様主催の「おしごとなりきり道場」が横浜ワールドポーターズのイベントホールで開催されました。

「おしごとなりきり道場」とは、将来の「夢」と「希望」という無限の可能性を秘めた子どもたちに、さまざまな職業のプロたちが仕事の魅力を伝える体験型のイベントです。

当日は、幅広いジャンルで 13 の道場が開かれ、当社は小学 1 ～ 3 年生の部で「印刷スタッフ道場」を開きました。大川社長とスタッフ 4 名で参加し、1 部と 2 部合わせて 22 名の子どもたちが弟子入りしてくれました。

子どもたちは、FSC® 森林認証紙の説明を真剣に聞き、FSC® 紙あてゲームや実際に活版印刷機を動かしての印刷体験はとても楽しそうに取り組んでくれました。

感想カードには、「かみのしゅるいがたくさんでびっくり」「かみが木からできてるってしらなかった」「いんさつがじょうずにできてうれしかった」「いんさつのしくみが面白かった」「しょうらい印刷をたん当する人になってみたい」等、たくさんの感想をもらいとても嬉しく思いました。そして、子どもたちが将来の自分の仕事を意識すること役に立てたかなと感じました。

今後も続けていきたいイベントのひとつです。（伊東）

紙にもいろんな種類があります

見たことない機械に興味津々！

横浜サンタプロジェクト 2017

2017 年 12 月 9 日（土）、横浜サンタプロジェクト実行委員会様による「横浜サンタプロジェクト」に訪問サンタとして参加しました。泉区にある、知的障がいのある子どもたちが暮らす施設の「ぽらいと・えき」様へ訪問し、利用者の皆さまと楽しい時間を過ごしました。企画を 2 つで、1 つ目は手形のクリスマスツリー作りです。それぞれの手の形に切り取った色紙を木のイラストに貼り付けます。人によって手の形や貼り方に個性が出て、オリジナリティあふれるツリーができました。2 つ目はコースター作りです。利用者の皆さまが牛乳パックで作ったコースターの表面にシールを貼り、裏面には活版印刷機を使ってサンタクロースのイラストの印刷を行いました。皆さんに喜んでもらえて、参加したメンバーからも笑顔がこぼれました。2018 年度は、施設の夏祭りに出店し、採用を視野に入れた工場見学などに向けて動いています。（宇賀神）

髙橋サブリーダーも見守ります

うまく印刷できるかドキドキです

第 10 回 ユニセフ・ラブウォーク in かわさき

5 月 20 日（日）、お客さまである神奈川県ユニセフ協会様の主催で、参加費用をユニセフ募金とするウォーキングイベントに今年も参加してきました。今年は大川社長、梶原サブリーダーを含め、計 4 名で参加。

天候に恵まれ、澄んだ空気、目にやさしい新緑、さわやかな風、会話を楽しみながら 3km のコースをあっという間に歩きました。ゴールの横には SDGs について誰にでもわかりやすく紹介し、まず自分たちでできることは何か？という問いかけをし、考えてもらうイベントを開催していました。我々大川印刷も経営目標に SGDs の取り組みをかかげ行動しています。とても共感でき、有意義な時間を過ごすことができました。（菊地常務）

神奈川県ユニセフ協会様の SDGs に関する展示

第 14 回湘南国際村めぐりの森　植樹・育樹祭

5 月 13 日（日）湘南国際村めぐりの森において、植樹・育樹祭が行われました。

大川社長をはじめ、12 名の従業員が参加した今回は、植樹祭史上最も過酷な急斜面での作業になりましたが、達成感も大きいものでした。

毎回従業員の参加意識が高まっている本イベントは、当社にとっても恒例行事になっていると実感しました。

これからも自分たちで植えた苗木の成長を見守り続けていきます。（上田）

最後に記念撮影！

新メンバー紹介

初めまして、工務課の井上 由香子と申します。
昨年６月に入社して１年経ちました。優しく個性豊かな従業員の皆さまに恵まれて今も楽しい毎日です。どんな失敗があっても持ち前のプラス思考で学んでいき成長していきますので、これからもよろしくお願いいたします。

昨年の 10 月より働かせていただいております、製造部製本課の松尾洋介と申します。
まずは、自分の仕事を完璧にこなせるように努力していきます。また、コミュニケーションを積極的にとり、明るい職場作りに努めていきますので、今後ともご指導よろしくお願いします。

入社一年目の製造部製本課の櫻井徹と申します。
失敗やミスのない仕事を意識しながら、作業スピードの向上を目指し日々励んでおります。
人見知りですが、会話を積極的に行い、人としても成長していけたらと思います。

インターンシップ修了報告

東洋大学文学部教育学科４年の泉 光太郎です。昨年 10 月から大学を休学し、アルバイトとして入社後、4 月からはインターンシップ生として働いていました。
主に横浜営業所に勤務をし、ホームページコンテンツ企画や、SNS での情報発信、社外への文書作成といった広報・PR を行いました。今までは、大学の研究活動、ボランティア、旅や国際交流などへの参加、学生ライターとして活動していましたが、大川印刷ではじめて会社で働くうえでの心構えを学びました。「会社の中で自分が貢献できることをひたすら考えて実行する」という現場を通じて、「仕事ではなく志事にしていくこと」を学ぶことができました。
これからは、情報産業である印刷会社で働いた経験を活かし、ローカルジャーナリズムを学び、地元や他地域の魅力を引き出していくような仕事に就きたいと思います。
大川印刷の従業員の皆さま、クライアントの皆さま、9 か月間、たくさん学ばせていただき、ありがとうございました！（泉）

大川社長と記念に１枚

Fm yokohama 生出演（2018 年 4 月 11 日）

某日大川社長から多言語版おくすり手帳について FM yokohama に生出演のお話をいただき、よくわからないまま「はい！」と何も考えずに承諾してしまいました。出演番組は「E-ne! ～ good for you ～ エシコン」。MC の方と 10 分程度の対話式でお話をさせて頂きました。始まるまではとても緊張していましたが、はじまった途端に緊張は何処へやら（笑）。ちょっと時間オーバーぎみでしたが、言いたいことはしっかりと話すことができました。番組のブログには多言語版おくすり手帳について簡潔にまとめてくださり、しかも音声データ付きで当日の番組も聞くことができます。QR コードからアクセスしてご覧ください。（蓑輪）

蓑輪さん（左）と DJ の MITSUMI さん（右）

編集後記

皆さんは何かエコ活動に取り組んでいますか？私は本屋さんでブックカバーを断ることが多くなりました。ごみが出ないのはもちろん、そもそもジャケ買いすることが多いので表紙が見える方が嬉しいです（ブックカバーが素敵な書店もあるのでもらうこともあります）。皆さんのちょっと楽しいエコ活動、ぜひ教えてください。（宇賀神）

SNSでリアルタイムコミュニケーションを展開中!

リアルタイムで大川印刷や横浜の情報が受け取れます！

facebook / YouTube / 大川印刷 twitter @OhkawaPrinting / 社長 twitter @tetsuo_ohkawa / 大川印刷 Instagram @ohkawaprinting / 社長 Instagram @tetsuo_ohkawa / 社長ブログ

編集　大川印刷
発行人　大川 哲郎
編集長　宇賀神 宏恵
発行元　株式会社大川印刷

◆本社・工場　〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2053番地
TEL：045-812-1131（代）FAX：045-812-1135
◆横浜営業所　〒220-0011横浜市西区高島2-14-12 ヨコハマジャスト2号館3F
TEL：045-441-2011（代）FAX：045-441-2014
URL：http://www.ohkawa-inc.co.jp
お問い合わせ・ご意見・ご感想は…
magokoro@ohkawa-inc.co.jp まで

印刷事業において発生するCO_2全てをカーボンオフセット（相殺）した「CO_2ゼロ印刷」で印刷しています。FSC®森林認証紙、ノンVOCインキ（石油系溶剤０%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場です。また、メディアのユニバーサルデザインを推進するNPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会が「より多くの方が使いやすく見やすいメディア」であると認めた印刷物です。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C009309
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
GREEN PRINTING JFPI P-B10164
CSR P-00027
MUD P10373

2018.11.2000